

小国高校ジャーナル

第205号

平成28年6月30日発行 山形県立小国高等学校

校長あいさつ



小国高校は、郷土に誇りを持ち、地域とつながりながら国際社会に生きる、活力ある人材の育成を目指しています。これまで、地域の皆様のご支援をいただきながら、小中高一貫教育による「国際理解教育」や「情報教育」、「白い森学習」を推進してきました。

また、情報処理、英語、ビジネス文書、簿記などの検定試験へ向けた取り組みや大学と連携した生徒の研究活動などを通して着実に成果を挙げてまいりました。

平成27年度末の卒業生は、就職希望者のほぼ全員の、2名の公務員を含め、小国町および近郊へ16名が就職しました。進学希望者は、山形大学工学部をはじめとして6名が四年制大学へ、同じく6名が短期大学へ、大学校に1名、専門学校に7名が進学しました。いずれも医療や介護、栄養、農業、文学や公益、幼児教育、情報等の様々な分野に進学しています。

平成28年度、小国高校生はまた新たな夢に向けて進んでいきます。地域に愛される学校として、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出し、地域に貢献できる人材を育てるべく、保護者や地域の皆様と心をつなげて、教育活動に邁進してまいります。今後とも、小国高校生へ温かなご声援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、本校の教育活動については、随時、ホームページ (<http://www.ygt-oguni-h.ed.jp/>) などで情報の発信に努めてまいりますので、そちらも併せてご覧いただければ幸いです。

新任者紹介

- ① 教科・校務分掌・部活動 ② 前任校
③ 出身地 ④ 趣味・特技・好きな食べ物など ⑤ 抱負をひとつ

かきざき えつこ
柿崎 悦子 校長先生



- ① 理科（生物）
- ② 米沢興譲館高等学校
- ③ 長井市（現在の住まいは米沢市）
- ④ 読書、散策、音楽鑑賞、等々
- ⑤ 小国高校に赴任して、爽やかな挨拶が素敵な生徒が多いという第一印象です。様々な場面で活躍する小国高校生を応援していきたいと思います。よろしくお願い致します。

さとう しの
佐藤 志野 先生



- ① 英語・2年2組担任・教務図書課・ソフトテニス部・バスケットボール部
- ② 米沢興譲館高等学校
- ③ 寒河江市
- ④ 音楽、旅行、肉
- ⑤ 今年の目標は全校生の名前と顔を覚えることです。一緒に楽しめる授業を目指して頑張ります。

しばた かつまさ
柴田 勝将 先生



- ① 理科（化学）・生徒保健課
総務広報課・卓球部
- ② 霞城学園高校定時制
- ③ 新庄市
- ④ 音楽鑑賞
いろいろな味の納豆の食べくらべ
- ⑤ 小国高校のみんなと楽しく過ごしたいと思います。よろしくお願い致します。

さがい ひろみ
佐貝 広美 さん



- ① 事務
- ② 置賜総合支庁福祉課
- ③ 南陽市
- ④ ドライブ
- ⑤ 小国高校の生徒の皆さんの明るい笑顔や挨拶に元気をいただきながら、楽しい毎日を過ごしています。これからもどうぞよろしくをお願いします。

わがつま あつし
我妻 淳 さん



- ① 学校技能員
- ② 米沢工業高等学校定時制
- ③ 米沢市
- ④ 和太鼓、めん類
- ⑤ 安全安心な学校生活がおくれるよう校舎内外の環境整備につとめます。

この3月に離任された教職員

官宏校長は東桜学館高等学校の校長へ、鈴木広和先生は南陽高校へ、森谷真美先生は、新庄北高等学校へ、事務主事の丸川由貴さんは、置賜教育事務所へ、学校技能員の梅津孝一さんは南陽高校へそれぞれ転出しました。

短期留学報告

本校の小国町小中高一貫教育の柱の一つである「国際理解教育」の実践として、平成27年度もアメリカ合衆国短期留学派遣事業が実施されました。今回は、3年2組の安部夏音さんと大谷虎之介君と舟山玲奈さんの3名が、イースト高等学校（アメリカ合衆国コロラド州デンバー市）へ3月12日から26日まで派遣され、充実した研修を行ってきました。

自身の成長につながった体験

3年2組 安部夏音

私は今年の3月に、二週間の短期留学をデンバーで行ってきました。最初は英語がなかなか通じず、とても悔しくやるせない気持ちになりました。しかし、アウェイな環境に自分の身を置くことで、精神の成長に繋がったと強く感じます。

また、そこでは健常者からの障がい者に対する意識が高かったため、今後の日本にもそのような姿勢が大切になってくると思いました。この貴重な体験で得たものを、今後の生活や進路につなげていこうと思います。



短期留学を通して

3年2組 大谷虎之介

私は、今年の3月に2週間の間、アメリカ・デンバーで短期留学をしてきました。最初は、不安な気持ちでいっぱいでしたが、日が経つにつれ、デンバーでの生活に慣れることができ、短期留学の生活を楽しむことが出来ました。また、アメリカの高校生の放課後やアメリカの広大な土地を感じることも出来てきて良かったです。

今回の短期留学を通して学んだことを、これからの生活に生かして、充実した高校生活を送り、悔いの無いように生活をしたいと思います。

念願だった短期留学

3年2組 舟山玲奈

今回の短期留学で、本当にたくさんのことを経験し、考え、感じる事ができました。私の人生の中で一番濃い2週間だったと思います。また、念願だった短期留学を経て、留学以前よりも目標が強く明確になりました。

私は短期留学で学んだことを発信していくべきだと思うので様々な形でそれらを発信し、日々精進していきたいです。

最後に、短期留学という素晴らしいチャンスを与えてくださり本当に感謝しています。ありがとうございました。

平成28年度入学式挙行



今年度の入学式は4月8日に行われ、新たに31名の新入生が入学しました。式では、柿崎校長の式辞、盛田小国町長、二村PTA会長の祝辞のあと、新入生代表の佐藤宇海（さとううみ）さんが、「高校生活では学習や学校行事を大切にして、何事にも前向きに取り組んでいきます」と声高らかに誓いのことばを述べました。

体育祭、紅軍が総合優勝！

平成28年度の体育祭が6月11日(土)に本校グラウンドで開催され、紅軍が総合優勝を果たしました。暑い中でしたが、生徒の皆さんは一生懸命競技や応援に取り組んでいました。



体育祭 結果

競技の部

1位 **紅軍** 998点 2位 **青軍** 994点

応援の部

1位 **青軍** 592点 2位 **紅軍** 585点

看板の部

1位 **紅軍** 241点 2位 **青軍** 225点

総合の部

1位 **紅軍** 1824点 2位 **青軍** 1811点

本校オリジナルゆるキャラ「おぐまん」誕生！！

～山形新聞に掲載される～

本校独自の「ゆるキャラ」を作ろうと、昨年秋に生徒や教職員から作品を募りコンテストを行い、このたびオリジナルキャラクター「おぐまん」が誕生しました。

今後、本校ではさまざまな場面で活用すべく検討していますが、このことが5月10日の山形新聞に掲載されました。

山形新聞 2016年(平成28年)5月10日(火曜日)



小国高の公式ゆるキャラ「おぐまん」。オレンジ色のベストを身に着けたかわいらしい姿をしている

クマ毛皮姿の生徒イメージ

「おぐまん」よろしく

宮前校長(現東根学館校長)が昨年、オリジナルキャラクターを考案する過程で生徒に社会勉強をしてもらい、学校や地域の活性化にもつなげようと「ゆるキャラグランプリ」の開催を発表。10、12月初旬に生徒や教員から作品を募り、町特産の山菜やアノの木、マタギなどを題材にした個性豊かな作品が集まった。

評判上々、町PRに期待

おぐまんは、同町小玉川地区の「小玉川熊まつり」で、クマ狩りを美演する際に毛皮をかぶって、クマ役を演じる人をモチーフにした。後藤さんがマタギのウサギ狩りに参加した際の体験も作品づくりに生かしたという。後藤さんは「おぐまんを通して生徒の成長を手助けし、小国町の魅力を広くPRできれば」と話す。

おぐまんは学年だよりやオンラインマガジン、全生徒に配布されたスケジュール帳に印刷されるなど、さまざまな場面で活用されている。今後は詳細なキャラクター設定を進めるほか、着ぐるみや3Dプリンターによるフィギュア作製なども予定。地域住民や地元団体と連携した活動も視野に入っており、同校は「多くの人に愛されるキャラクターになってほしい」と願っている。

小国高公式ゆるキャラ誕生

小国町の小国高(熊崎俊子校長)の公式ゆるキャラ「おぐまん」が誕生した。クマの毛皮をかぶった同校生徒をイメージしており、親友会のオレンジ色のベストを身に着けたかわいらしい姿。評判も上々で、関係者は「同校や町の魅力発信に一役買ってくれるはず」と期待を寄せている。

拓朗さん33が考案したおぐまんが3分の1ほどの得票数でトップになった。

おぐまんは、同町小玉川地区の「小玉川熊まつり」で、クマ狩りを美演する際に毛皮をかぶって、クマ役を演じる人をモチーフにした。後藤さんがマタギのウサギ狩りに参加した際の体験も作品づくりに生かしたという。後藤さんは「おぐまんを通して生徒の成長を手助けし、小国町の魅力を広くPRできれば」と話す。

おぐまんは学年だよりやオンラインマガジン、全生徒に配布されたスケジュール帳に印刷されるなど、さまざまな場面で活用されている。今後は詳細なキャラクター設定を進めるほか、着ぐるみや3Dプリンターによるフィギュア作製なども予定。地域住民や地元団体と連携した活動も視野に入っており、同校は「多くの人に愛されるキャラクターになってほしい」と願っている。

陸上部 4 × 400mR 地区総体 3位入賞!

～地区、県高校総体で大活躍～

5月7日～8日に米沢市営陸上競技場で開催された置賜地区総体陸上競技において、本校陸上部が出場し、4 × 400mRでは九里学園、米沢中央に続いて堂々3位に入賞、走り幅跳びや砲丸投げ、円盤投げなどでも入賞するなどの活躍をみせてくれました。



★陸上部部長「伊藤悠斗」君にインタビュー★

- ◎地区他会まで何を目標に練習してきましたか。
→各種目地区大会3位入賞を目標にしてきました。
- ◎地区大会・県大会の結果についてはどうでしたか。
→4 × 400mRでは地区大会のタイムより6秒もよいタイムを県大会で出すことができました。また、砲丸投げや槍投げ、円盤投げでは東北大会出場を目標にしましたが、記録・順位ともに目標に達せず悔しい思いをしました。
- ◎後輩や先生方へひとこと。
→後輩の部員へ。他人に頼らず、自ら率先して練習に取り組んでほしい。顧問の先生方には、手のかかる3年生をご指導いただきありがとうございました。

部活動大会報告

陸上部

置賜地区高等学校春季総合体育大会陸上競技
平成28年5月7日～8日 米沢市営陸上競技場 ((県)は県大会出場)
【男子】

- 100m 佐藤大雅(県)、笠原一希(県) 奥村広之
- 200m 齋藤紫吹
- 400m 第7位 佐藤大雅(県)、今拓真(県)、齋藤紫吹
- 800m 第4位 今拓真(県)、横井健太
- 4 × 100mR 第4位(今拓真・佐藤大雅・伊藤悠斗・笠原一希)(県)
- 4 × 400mR 第3位(佐藤大雅・今拓真・笠原一希・伊藤悠斗)(県)
- 走り幅跳 第2位 笠原一希(県) 高橋不動 舟山和真
- 三段跳 高橋不動
- 砲丸投 第2位 伊藤悠斗(県) 伊藤勇人
- 円盤投 第3位 伊藤悠斗(県) 舟山和真
- やり投 第5位 伊藤悠斗(県) 奥村広之 伊藤勇人
- *トラック総合 6位 *フィールド総合 4位 総合 5位

【女子】

- 100mH 第8位 安部美鈴(県)
- 4 × 100mR 第8位(佐藤宇海・安部美鈴・井上美空・舟山玲奈)(県)
- 走高跳 第5位 舟山玲奈
- 円盤投 第3位 安部美鈴(県) 第8位 佐藤皆水(県)
- *フィールド総合 6位 *総合 9位

第67回山形県高等学校総合体育大会陸上競技大会
平成28年5月27日～30日 NDソフトスタジアム山形

- 100m 予選 佐藤大雅 笠原一希
- 400m 準決勝進出 佐藤大雅 予選 今拓真
- 800m 予選 今拓真
- 4 × 100mR 予選 今拓真・笠原一希・伊藤悠斗・佐藤大雅
- 4 × 400mR 予選 佐藤大雅・今拓真・齋藤紫吹・笠原一希
- 走り幅跳 決勝第11位 笠原一希
- 砲丸投 決勝第8位 伊藤悠斗
- 円盤投 決勝第8位 伊藤悠斗
- やり投 決勝第14位 伊藤悠斗
- 100mH 予選 安部美鈴
- 4 × 100mR 予選 佐藤皆水・安部美鈴・井上美空・舟山玲奈
- 走高跳 舟山玲奈 1m30
- 円盤投 第12位 安部美鈴 佐藤皆水

野球部

第63回春季東北地区高等学校野球山形大会置賜地区予選
1次予選 一回戦 小国3-10米沢工業
2次予選 一回戦 小国5-12南陽

柔道部

置賜地区高等学校総合体育大会柔道競技
平成28年5月14日 南陽市民体育館武道場

- 男子団体
予選Aリーグ 対米沢工業 0-5 対米沢中央 0-5 対南陽 2-3
- 男子個人戦出場者
伊藤友広(2回戦進出)、山口裕輝、丹野夏葵
安部洋平 小方柗亮 伊藤涼河 井上善達 益田晃汰

山形県高等学校総合体育大会柔道競技

平成28年6月4～5日 南陽市民体育館

- 男子団体
1回戦 対 新庄神室産業 0-5
- 男子個人戦出場者
高橋歩武 山口裕輝 安部洋平 小方柗亮 伊藤友広(2回戦進出)
伊藤涼河 井上善達 益田晃汰

卓球部

置賜地区春季高校総合体育大会卓球競技

平成28年5月14日～15日 長井市置賜生涯学習プラザ体育館

- 男子学校対抗 1回戦 小国0-3米沢工業
- 男子シングルス
1回戦敗退 清野恭平 渡部偉大 宇津木颯人 片山乃輝 栗田亮汰
2回戦敗退 宇津木颯汰 齋藤翔哉 島貫翔平 井上雄斗 横山駿
相馬杏哉 相馬良信 山村晃生 今陽斗 八幡電馬
與板凌 渡部凌汰
- 3回戦敗退 伊藤颯太 歌丸大翔
- 男子ダブルス
2回戦敗退 相馬杏哉・相馬良信

ソフトテニス部復活!!

休部となっていたソフトテニス部が4年ぶりに復活し、この5月より1年生を中心に活動を再開しました。秋の地区新人大会出場を目標に練習に励んでいます。

